

今宮工科高校で出前講座開催

結束作業や圧接作業を体験
午前と午後の 2 回に分け 58 人が受講

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 6 月 27 日、大阪市西成区の大阪府立今宮工科高等学校で座学と実技体験による出前講座を開催しました。同校での開催は 4 年連続で、今回も関西圧接業協同組合との合同によるものです。

当日の講座は午前の部と午後の部の 2 回に分けて行われ、午前は建築設計専科の 3 年生 32 人が、そして午後は建築生産科の 3 年生 26 人が受講しました。最初に建設現場の一日の流れや鉄筋工事の役割などを紹介した DVD による座学が行われた後、午前、午後の部とも生徒たちは 4 班に分かれ、鉄筋の組立作業と圧接の実演見学及び作業を体験しました。鉄筋の組立作業ではプロの職人の指導を受けながら、生徒たちはハッカーを使って柱・壁と 3 級検定モデルの結束作業に取り組みました。また、班ごとに圧接作業の実演を見学するとともに、実際にバーナーを使った圧接作業を体験しました。

なお、今回開催された出前講座には大阪労働局からの担当者による見学に加え、読売テレビの取材もありました。

今宮工科高校の出前講座に参加、協力いただいた組合関係者は次の通り。

- ・ 岩田理事長
- ・ 田浦副理事長
- ・ 田村理事
- ・ 森山理事
- ・ 恵谷理事
- ・ 辻本青年部会長
- ・ 今村青年部副部長（吉岡工業）
- ・ 職人さん 4 名（田浦、田村工業、富田興業、恵谷鉄筋より各 1 名）

講座状況

